

4

人口減少に対応し、持続可能な社会を支える道づくり

県民へ還元

戦略的な道路整備と維持管理が地域間の連携を支えることで、各種都市サービスが享受可能となり、生活の利便性が向上します。

成果指標	基準値(R2)	目標値(R7)
3次救急医療施設1時間カバー圏 (人口ベース)	91%	92%

施策4-1

都市部や生活拠点との
連絡を強化する道路整備

- ◆都市・拠点と周辺地域間を連絡する、すれ違いができない区間等でのバイパス整備や道路拡幅の推進によるネットワーク機能の向上



写真 大型車の離合が困難な未改良区間
(主) 厳原豆酸美津島線 (対馬市厳原町)

指標	基準値(R2)	目標値(R7)
国県道の供用延長	—	37.6km

施策4-2

救急医療体制の支援

- ◆第三次救急医療施設から遠く離れた半島部などの地域における、高規格道路などの整備推進
- ◆離島などの道路改良が遅れている地域における、集落から第二次救急医療施設に至る道路改良の推進 など

指標	基準値(R2)	目標値(R7)
高規格道路の供用率(再掲)	58.7%	64.2%

施策4-3

戦略的な道路の維持管理

- ◆橋梁、道路トンネル、道路舗装、大型構造物、道路付属物の維持管理計画に基づいた取り組みの推進
- ◆ICT、ドローン等の新技術を活用した効率的な点検方法の導入
- ◆大学等と連携した「道守」制度による点検・診断資格者の要請、施設点検へ「道守」を積極的に活用 など

施策4-4

道路交通分野における
DXの推進

- ◆ETC2.0等のビッグデータを活用した渋滞対策や交通安全対策の推進
- ◆ICT等を活用した道路を賢く使う取組 など



写真 点検ロボット



写真 自動運転バス試乗会の様子